

科目名 Course Name	幼児曲演習 Infant song exercises				ナンバリング No.	K3-007	
年次	2 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	岡泉志のぶ、川田将人、栗原多恵、中沢充恵						
連絡先(質問等)	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間以外						
必修／選択	選択（保育士養成課程選択必修）						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	子どもが成長する過程で音楽の必要性和影響力はとても大きく、子どもが音楽に親しんでうたを歌うことや楽器を演奏する楽しさを感じるためには、保育者自身が音楽を楽しみ、また、その実践能力が高いことが望ましい。この授業では、保育現場で必要なピアノ技術と伴奏法の習得を図り、教育実習・保育実習の準備として、各自が実習先から提示された課題曲について指導を受け、部分的な保育実践に取り組む。学習の過程を事前事後学習帳に記入して活用する。この授業の到達目標は、以下の 4 つである。 ② 音楽に対する関心を高め、表現活動に取り組む姿勢を身につけることができるようにする。 ②事前事後学習帳を活用して、個々の習熟に合わせた練習計画を立てることができるようにする。 ③習得した幼児曲を保育実践の流れの中で演奏することができるようにする。 ④簡単なコードを活用して、幼児曲を応用的に伴奏することができるようにする。						
授業の方法	習熟度別でクラス編成をし、個人レッスン(全 15 回)と模擬保育(隔週)を併用して行う。模擬保育ではグループワークとして楽曲の音楽的・技術的特徴を共有し、演奏法について理解を深める。以下には、標準的(初心者にも適した)授業計画を示す。						
学習成果	L01	実習先から提示された課題曲と各自が習得した幼児曲の伴奏や弾き歌いを、保育現場で実践することができる。					
	L02	楽曲の構成、正確な音程やリズム、速度、強弱を用いたピアノ技術の習得とコードを理解し、音楽的に表現することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。						
教科書／参考図書	テキスト:改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、その他実習先からの課題曲や幼児曲の楽譜を適宜使用する。						
履修上の留意点やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室への飲食持ち込みは禁止とする。 ●事前、事後学習に費やす時間の目安は 45 分とする。						
担当教員の実務経験	●音楽担当教員 職種:ピアノ講師 職歴:10 年以上 学生個々の能力別による個人レッスンに、ピアノ指導の経験を活かす。 ●保育実践担当教員 職種:幼稚園教諭 職歴:通算 9 年 保育のうた活動実践について、現場経験を活かす。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	毎回、与えられた課題を練習して授業に臨んでいる。事前事後学習帳の記入と授業内でのレッスンによる理解度についても評価する。	20					
レポート／作品							
発表	弾き歌いを中心とした保育実践を行う。(10点×5回 50点満点) 弾き歌いの個人発表をする。(配点20点)		70				
小テスト							
試験							
その他	楽曲の進度とレパートリーとして10曲を習得することで最高水準とする。		10				
合 計		20	80				

回数		授業計画
1	授業内容	全体オリエンテーション:授業概要、評価方法の説明、受講上の注意等を説明 担当者別:習熟度チェック、各自の教材の選定と課題
	事前・事後学習	提示された課題を完成させるよう練習時間を定めて課題に取り組み、毎日練習をする。 毎回、レッスンで習得したことを復習し、完成した曲も継続してレパートリーを増やす。
2	授業内容	日常のうた弾き歌い① 朝のうた おべんとう
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
3	授業内容	日常のうた弾き歌い② おかえりのうた さよならのうた
	事前・事後学習	日常のうたのねらいと活動の内容に留意して、弾き歌いを練習する。
4	授業内容	実習先の課題を用いて 日常のうたと季節のうた
	事前・事後学習	個々に与えられた課題曲を確認し、各曲のねらいと活動の内容に留意して適切な弾き歌いを体得する。
5	授業内容	実習先の課題を用いて 季節のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
6	授業内容	実習先の課題を用いて 行事のうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
7	授業内容	実習先の課題を用いて 園歌などの園の特色を持ったうたの弾き歌い
	事前・事後学習	各課題曲の歌詞の内容に沿った、表現豊かな弾き歌いを体得する。
8	授業内容	幼児曲弾き歌い①春のうた ちょうちょう せんせいとおともだち 春がきた
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱を感じながら弾き歌いをする。
9	授業内容	幼児曲弾き歌い②夏のうた 例:おばけなんてないさ うみ シャボン玉
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱を感じながら弾き歌いをする。
10	授業内容	幼児曲弾き歌い③秋のうた 例:どんぐりころころ 大きなくりの木の下で バスごっこ やきいもグーチャーパー
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱を感じながら弾き歌いをする。
11	授業内容	幼児曲弾き歌い④冬のうた 例:ジングルベル あわてんぼうのサンタクロース 雪
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、季節感を味わえる速度や強弱等の弾き歌いを習得する。簡易伴奏の練習をする。
12	授業内容	幼児曲弾き歌い⑤行事のうた 例:ハッピーバースデー 思い出のアルバム
	事前・事後学習	テキストのねらいと活動の内容に留意して、速度や強弱等の弾き歌いを習得する。
13	授業内容	幼児曲弾き歌い:これまでのまとめと発表曲 例:日常のうた 季節のうた
	事前・事後学習	発表に向けて発表曲を仕上げる。
14	授業内容	個人発表(弾き歌い)と講評
	事前・事後学習	発表後は講評を踏まえて復習する。
15	授業内容	幼児曲弾き歌い:自由曲 例:さんぽ アンパンマンマーチ
	事前・事後学習	これまでに学習した幼児曲の復習と新しい弾き歌いのレパートリーを増やす。